

Vol. 23

2021.December

故郷便り  
安田町

高知県

# まんま

Enjoy  
Country Life  
Yasuda Town  
MANMA



# コロナ禍でも、町民が安心して暮らせる町へ

保育料の完全無料化をはじめ、  
安心して子育てができる環境をつくり、

コミュニティバスの運行、一次産業の後継者確保、観光振興など、  
収束が見通せないコロナ禍でも、  
町民が安心して暮らせる町づくりについて伺いました。



安田町長  
黒岩 之浩 Kuroiwa Yukihiko

## 町民の足となるバス運行

### 手厚いサポート体制

全国の地方自治体と同様に、安田町にも少

子高齢化の課題があります。それを解決する  
ために、安心して子育てができる政策の一例と

して、保育料の完全無料化を実施しています。

また、車の免許を持つていない方や、免許証

を自主返納された高齢者の方など、移動手段

を有しない町民が、日々の買い物や通院等に、  
低額で利用できるコミュニティバス（路線定期

運行、デマンド区域運行）の本格運行を、令和2  
年10月から開始しました。

これは町内に暮らす誰もが安心して生活で  
きるように、あるいは住みやすさをもつと感じ  
られるように打ち出した政策です。

そして産業振興、後継者問題にもチカラを

入れています。町は移住者、後継者への取り組  
みとして、移住促進住宅を整備しました。ま  
た農業の場合は最長2年、町内の指導農業士

のもとで研修を受け、さらにサポートハウジング

最大2年間、栽培収穫、販売など一連の作業  
ができます。そうして自分が目指す農業経営  
のイメージをつかんでから、原則独立就農して

もらっています。こうした手厚いサポートで、  
町外から若い人材を呼び込みたいですね。

令和3年4月には「安田川アユおどる清流  
キャンプ場」がリニューアルオープンしました。  
キャンプ用品大手のコールマンとの提携も行  
い、県外からキャンパーが集っています。今後

ーに伝え、使ってもらうことが課題になります。安田町は歴史ある町でもありますので、移住や観光などを通じて、関係人口を増やしていきたいですね。

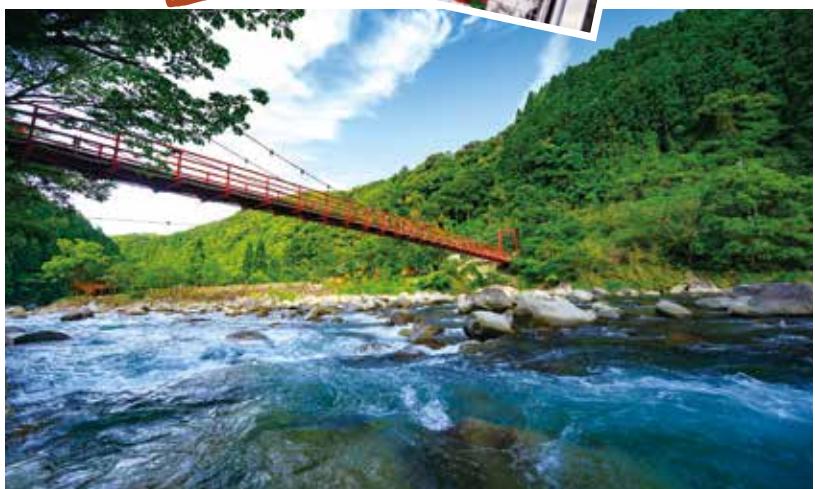
## このコロナ禍を乗り越えて

収束が見通せないコロナ禍の中、基幹産業

である農業等を含めて、厳しい現実があります。町としてはできる限り対応して、町民の皆さんに少しでも安心していただける取り組みを行っていきます。町外で暮らす安田町出身者の皆さんも様々な制約を受けて、窮屈な生活をしていると思います。このコロナ禍を乗り越えて、故郷安田に安心して帰省できる日が一刻でも早く来る事を願っています。その時に



## 安田川アユおどる清流キャンプ場が リニューアルオープン!



利用時間、料金詳細については  
HPをご覧ください。

住／安田町大字船倉500  
問／0887-39-2266 受／10:00～17:00  
休／火曜・水曜 予約センター／0887-30-1960

春には新緑や桜、夏には川遊び、秋の紅葉など、豊富な自然を一年通して感じられます。

## あふれる自然と非日常を満喫しよう！

キャンプサイトは、テントを張る場所まで車乗り入れ可能なオートキャンプとなり、バイク用のフリー サイトもあります。キャビンはロフト付きで、コールマンの最高級マットレスと寝袋があり、ゆったりと過ごせます。

また、コールマン製品のテントやバーベキュー用品のレンタルもできるので、初心者の方も気軽に楽しむことができます。



安田郵便局



安田郵便局 TEL.0887-38-6152

郵便窓口 9:00～17:00(貯金・保険窓口は16:00迄)

ATM 9:00～18:00(平日) / 9:00～17:00(土曜) / 9:00～14:00(日曜・祝日)

安田郵便局長の  
橋本雅史さん

高知県農業協同組合安田支所

高知県農業協同組合  
安田支所長の  
齊藤久高さん

高知県農協安田支所 TEL.0887-38-6611

営業時間 8:30～17:00(信用・共済窓口は8:30～15:00)

ATM 9:00～18:00(平日) / 9:00～17:00(土曜・日曜・祝日)

ちょっと遠慮する人もいるようです。』と笑顔で話します。

J A 支所長の齊藤久高さんは、『この役場には信用・共済事業が来ていて、組合員にとっても役場、郵便局があることで利便性が本当にありました。ただ、庁舎が綺麗すぎで、農作業をしてから来るのが1月に入居しました。

JA支所長の齊藤久高さんは、『この役場には信用・共済事業が来ていて、組合員にとっても役場、郵便局があることで利便性が本当にありました。ただ、庁舎が綺麗すぎで、農作業をしてから来るのが1月に入居しました。

JA支所長の齊藤久高さんは、『この役場には信用・共済事業が来ていて、組合員にとっても役場、郵便局があることで利便性が本当にありました。ただ、庁舎が綺麗すぎで、農作業をしてから来るのが1月に入居しました。

JA支所長の齊藤久高さんは、『この役場には信用・共済事業が来ていて、組合員にとっても役場、郵便局があることで利便性が本当にありました。ただ、庁舎が綺麗すぎで、農作業をしてから来るのが1月に入居しました。

JA支所長の齊藤久高さんは、『この役場には信用・共済事業が来ていて、組合員にとっても役場、郵便局があることで利便性が本当にありました。ただ、庁舎が綺麗すぎで、農作業をしてから来のが

定期的に連絡会議を行い、町民へのサービス向上に取り組んでいます。

今は役場、JA、安田郵便局が定期的に連絡会議を行い、町民へのサービス向上に取り組んでいます。

# 町民サービス向上へ向けて一丸に

## 安田朗ファンに嬉しい ペタんこラリーと企画展

### 安田deペタんこラリーを開催中！

「安田deペタんこラリー」を令和3年8月から令和4年2月末まで開催しています。町内46店でお買い物等をして、安田朗シールをゲット。素敵な特産品が抽選で当たります。

お店や応募方法などはHPからご覧いただけます。  
どしどしご応募ください。



### アンビリーバボーアンタロー展に注目

平成25年度に誕生した「安田朗」は、町内外でPR活動を行い、安田町への誘客を図り、「ゆるキャラグランプリ2020」では全国5位となるなど、町の知名度向上に大きく貢献してきました。

令和4年2月19日からの企画展「安田朗生誕10周年プレ記念特別展」では、安田朗の誕生10周年を記念し、誕生から今までの活動の記録等を紹介します。是非、遊びに来てください。

日時／令和4年2月19日(土)から6月26日(日)
午前9時～午後5時
場所／安田まちなみ交流館・和
観覧料／300円(グッズ付き)
高校生以下および障害者手帳提示者等は 無料(グッズなし)
休館日／火曜(祝日の場合は翌日、12/28～1/2)
駐車場／あり(8台)
問合せ／安田まちなみ交流館・和(0887-38-3047)



恋人の聖地のような、アートを感じる休憩所です。

### 唐浜休憩所で癒しの時間を

国道55号沿いにヨーロッパ風の建物が目を引く休憩所が令和2年12月に完成しました。スペインで一番美しい村ともいわれている安田町の姉妹都市、モンテリオオをイメージした造りで、夕陽に染まる白い建物はなんともいえない素敵なお洒落な雰囲気。太平洋を一望できます。



住所／安田町大字唐浜 電話／0887-38-6713(町地域創生課)  
駐車場／あり(4台)



### 「やすら号」を運行しています

安田町コミュニティバス「やすら号」を令和2年10月から運行しています。

安田町に暮らす誰もが、車の運転ができなくとも安心して生活を維持できることを目指しています。詳しくは町HP等でご確認ください。



問合せ／町地域創生課 電話／0887-38-6713

に恋して、  
安田

# 移住と就農

高知大学農学部時代の授業の一環で、安田町小川地区に滞在した岡本さん。地域の人たちに触れ、安田が大好きになつた彼女は、在学中に移住を決意。2年間の新規就農制度で学んだ後、令和3年7月に独立しました。

ナス農家 岡本晴佳さん



## 大学在学中から移住希望

香川県出身の岡本さんは、大学1年生の夏に「中山間地域で学ぼう」というプログラムで、10日ほど安田町小川地区に滞在。その時に地域の人たちがとても温かく親切で、この土地が好きになりました。それから「安田の食応援隊」という学生団体を結成し、毎年安田へ来ることに。すでに2年生の時に移住を意



「師匠からはナスの育て方だけじゃなくて、農家としての働き方や仲間のつくり方などを教わりました。今でも師匠や周りの農家さんを頼つていろいろなことを相談しています(笑)。」

## 手入れすれば応えてくれるナス

一反三畝(およそ1280平米)のハウスを取得した岡本さん。7月からすぐに土づくりや畝立てなどをはじめ、8月下旬に植え付け、9月中旬からはじまった収穫は、来年6月まで続きます。現在は日の出前に起き、6時ごろから収穫作業をしています。日によって3時間で終わる日もあります、昼頃までかかる日もある

識。それを実現するために卒業後は就農を目指し、県知事認定の指導農業士のもとで2年間技術を学びました。そして令和3年7月から

ナス農家として独り立ち。安田への想いが行動力につながっています。

安田が好きで、移住と就農を果した岡本さん。こんな素敵なお者さんがいることが広く伝わって欲しいし、地域のタカラだと感じます。

そう。「収穫時に摘葉をするなど、自分がやつた仕事の成果が2、3週間後ぐらいに収量で分かつきます。ナスは手入れすれば応えてくれる作物なので、あの時ちゃんと働けていたとか、あの時ちょっとさぼつていたことが一目瞭然(笑)。シビアな面もありますが、やりがいはありますし、自分のペースでコツコツと作業をしていくことは、自分の性格に向いています。」と前向きに答えていました。

岡本が好きで、移住と就農を果した岡本さん。こんな素敵なお者さんがいることが広く伝わって欲しいし、地域のタカラだと感じます。



# 三代目酪農家のこだわり



小学生の頃から実家を継ぐと決めていた江渕辰哉さんは、昭和20年に創業した「江渕牧場」の三代目。安田町で唯一の酪農家として奮闘しています。

もらいました。

## 22歳で実家を継ぐ

江渕さんは中学を卒業後に実家を継ぎたいと希望していましたが、親や先生のアドバイスを受け、高知農業高校、岡山県蒜山にある中四国酪農大学校で勉学や実習を行なった。そんななか、酪農関係のメーカーから「酪農ヘルパー」という仕事を紹介されました。親にも「2、3年修行のつもりで」と背中を押して

「酪農家は365日休みがない仕事なので、酪農ヘルパーは、酪農家に代わって休日の搾乳や牛舎の掃除などを行います。県内のいろいろな牧場を経験しました。だいたい作業の流れは同じですが、それぞれの牧場で工夫している点は参考になります。ただし、酪農家とのつながりができることが大きかったです。」

22歳で牧場を継ぐため帰つてき

て、はや10年近くが経ちました。今では奥さんの結衣さんと一緒に牧場経営を行っています。

## 暑さ対策に細心の注意を

現在2つの牛舎で70頭を管理しています。そのうち40頭が搾乳牛。あとは育成仔牛などになります。自動給餌機の導入は少量で多回数、常に新鮮なエサやりが可能になり、しかも牛の乳質成分、健康状態に合わせて「頭ごとに適切な餌餌ができるようになりました。それでも牛は夏の暑さに弱く、その対策が重要です。「ここは標高が約600mあり、平地より気温が2、3°C低く風通しもいいですが、それでも扇風機の台数を増やすなど対策や、食が落ち



江渕牧場 住所／安田町栄峯

## 小松秀吉さん

## 映画になりそうなオトコ



## 大きな画面に魅了されて

「僕は3歳から大きな画面（スクリーン）で映画を観ていて、それがずっと脳裏をよぎります。劇場があるので、いろんな人との出会いがあり、映画からも影響を受けましたね。」



父親が昭和29年から始めた映画館を手伝い、中学を卒業する頃には作品の看板を描き、映写機も回していました。一度は大阪に出たものの、昭和48年に帰郷。生まれ育った安田を戻る場所と決めていたそうです。そして父の想いを継ぎ「大心劇場」と名を改め、今に至ります。

## 昭和の雰囲気がここに

「映画を観ているお客様は同じ空間で面白さや感動を共有しています。」

います。それを映写室から眺めるのが好きで、この場面で笑い声が聞こえるという予測は、だいたい当たりますよ。」と笑う小松さん。観客同士、そして館主とのコミュニケーションの場。そんな昭和の劇場の空気感が今も残っています。劇場内の壁一面に貼られている名作映画ポスターや、作品を紹介する手描きの看板などから温かみが感じられます。そして、「県内外の方が応援してくれて、メディアでも取り上げてもらい、大勢の方にこの存在を知つてもらいました。本当に有難いです。」と話します。

「豆電球」として県内でも知られた存在です。令和3年秋には新作CDを発売。コロナ禍に負けないよう、精力的な活動を再開しています。

小松さんは安田の魅力を住民の個性だといいます。「鮎名人や炭焼き名人たちは観光資源だと思います。そういう地域で活動している人の本をつくってみても面白いですね。」と話す小松さんの朗らかな表情が素敵でした。

小松さんのもう一つの顔がミュージシャン。地元応援ソングを歌う「豆豆電球」



## 大心劇場

住所／安田町大字内京坊992-1

電話／0887-38-7062

映画の上映情報はHPでご確認ください。

<http://wwwc.pikara.ne.jp/mamedenkyu/>



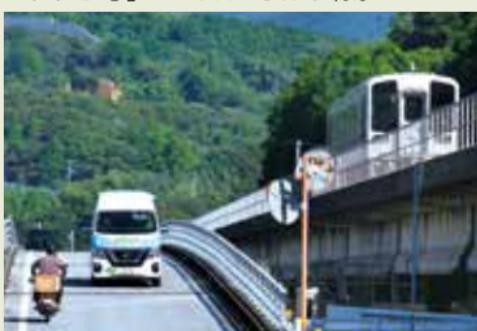
安田町役場の外観。  
県産材をたくさん  
使正在ことことが伝わります。



安田  
土佐の  
販売して  
士朗の大判焼きは、  
大人気！  
市であります。



市民の大事な公共交通機関、  
「やすら号」とごめん・なはり線。



安田不動の滝は、国道55号、  
安田大橋を東に進むと、  
山側に見えてきます。



## 安田町役場 地域創生課

〒781-6421

高知県安芸郡安田町大字安田1850番地

TEL0887-38-6713 FAX0887-38-6723

E-mail sousei@town.kochi-yasuda.lg.jp

ホームページ <https://www.town.yasuda.kochi.jp/>

